

愛知県一の産地・西尾でイチゴ出荷が春のピーク 1日に48000パック、県内や北陸の市場へ

春を迎え、西尾市では施設栽培イチゴの生産がピークを迎えています。出荷量が最多となるのは4月下旬から5月上旬。出荷場のJA小牧センターでは、多い日には一日に約48000パック（1パック280[㍎]）が出荷されます。

西尾市のイチゴ生産者で組織するJA西三河いちご部会では、95人の生産者が「章姫」「紅ほっぺ」の二種のイチゴを生産。愛知県内では最多の1033[㍎]（平成28年度）を、主に愛知県内のほか石川県・新潟県の市場へ出荷しています。

■今年のイチゴの作柄（4月上旬現在）

10月の長雨による日照不足で出荷序盤が落ち込み、杖年での出荷量は前年比やや少ない（97%）ですが、販売額は昨年とほぼ同額。春に入ってから好天に恵まれて順調に生育しています。



■取材対応日■

【日時】4月25日（水）午後5時～

【集合】JA西三河 小牧センター

（西尾市吉良町小牧梶見堂3 0563-35-0246）

■産地振興プロジェクト「いちごスクール」参加希望者募集中！

JA西三河・JAあいち経済連・西尾市・愛知県とJA西三河いちご部会などで組織するJA西三河いちご産地振興委員会は4月1日より、施設栽培イチゴの就農支援プロジェクト「いちごスクール」の参加を希望する新規就農者の募集を開始しています。

「いちごスクール」は、施設イチゴ栽培での就農を目指す方を対象とする就農支援プロジェクトです。栽培技術などを生産者が直接指導する実務研修から、経営研修・農地取得・補助金申請などをセットに、新規就農・1ターン就農者を専業農家まで育成します。

※ 可能であれば、イチゴ出荷ピークの取組に合わせて、こちらの「いちごスクール」についてご紹介頂きたいです。取材対応日当日は、JA西三河いちご産地振興委員会の役員への取材も可能です。告知パンフレットも合わせてお送りします。

西尾市のイチゴ生産の概要

～県内一の大産地、長期発展へ新規就農者向けプロジェクト始動～

■西尾のイチゴ生産の特徴■

J A西三河いちご部会では95人の生産者が高設栽培（章姫）・土耕栽培（紅ほっぺ）でイチゴを生産しています。生産量1033トンは県内トップ。加温したハウスの中で11月から5月頃まで長期にわたる出荷を行っています。出荷量のピークは5月頃。

毎年冬には、需要の高いクリスマス時期に最初のピークを合わせるよう栽培を調整。この時期には業務用イチゴ（主にクリスマスケーキ用）の出荷も行い、安定した高品質が製菓業者に高く評価されています。



小牧センターでの出荷作業

■「虫」をもって「虫」を制す

天敵の利用で農薬使用を抑制■

同部会では農薬（殺虫剤）の利用の抑制とコスト低減・省力化のため、天敵（害虫を捕食する別の虫など）を利用した防除を行っています。イチゴの重要害虫であるハダニ対策として、ハダニを捕食するダニの「チリカブリダニ」を導入し、農薬の使用を抑えつつ高品質のイチゴ作りにつなげています。



天敵資材を設置するイチゴ農家

■新規就農支援プロジェクト「いちごスクール」

2018年度より始動■

J A西三河いちご産地振興委員会は2018年度より、西尾市で施設イチゴ栽培での就農を目指す方を対象とする新規就農支援プロジェクト「いちごスクール」の参加者募集を開始しました。

農家から直接指導を受けて栽培技術などを習得する実務指導から、経営研修・農地取得・補助金申請などをセットにイチゴ専業農家を育成します。新規施設の建築や住宅あっせんも行い、西尾市内外からの新規就農希望者の受け入れ態勢を整えています。



新規栽培者募集のパンフレット

【生産者部会情報】

名称：J A西三河いちご部会

部会員数：95人 耕作面積：約17.3㌥

流通先：愛知県・石川県・新潟県

出荷量：1,033トン（平成28年実績、業務用出荷等含む）（愛知県では市町村単位で1位）

収穫期：11月～6月（ピークは4月）

（全国の生産概況）

全国のイチゴ出荷量：145,200トン

愛知県のイチゴ出荷量：8,860トン（東海地方では静岡県（9,740トン）に次ぐ2位）

データ：農林水産省 作況調査（野菜）平成27年度確報

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001164543>

みんなが
大好きな
いちご。
西尾で
作りませんか？



愛知県内トップの
いちご産地で
農家になろう！

いちご作りの先輩達の声

大変だと思っていたいちご栽培
だけど、農家の先輩やJAの
皆さんがサポートしてくれる
ので、とても楽しいいちご
作りができています。

自分達で育てたいちごが、採れ
た時の喜びは何とも言えないく
らい嬉しいです。「一緒にいちご
作りの喜びを感じましょう！」

西尾市はいちごの生産量愛知県内トップ！

西尾市は愛知県の中央南端に位置し、人口約17万人の西三河地域の中核をなす都市で、多種多様な農作物が生産されています。年間通じて温暖で冬場でも日射量が多いことから、いちご栽培に適しており、いちごの生産量は県内トップを誇っています。

西尾市の 「いちご」栽培の 魅力

安定して売れる！

子どもからお年寄りまで
幅広い年齢層に人気で
安定した販売が見込めます。

出荷期間が長い！

11～5月の間
収穫することができ、長期間収入を
得ることができます。

仲間が多い！

県内屈指の部会員数を誇り、
情報交換が盛んで活発な
活動を行っています。

応募資格

- 満18歳以上で研修終了後は「いちご」生産者として就農意志が明確な方。
性別・出身・農業経験の有無は問いません。
- 研修終了後は、西尾市内で就農し、「JA西三河いちご部会」へ加入できる方。
※就農時点で45歳未満の方は「農業次世代人材投資事業（準備型、経営開始型）」
（年間最高150万円まで、最長7年間）の申請が可能です。
※採用には審査があります。

募集期間

第1次：4月1日から 7月31日まで
第2次：9月1日から 12月31日まで

※いずれも応募書類は上記期間内必着をお願いします。※要望があれば随時、ご相談に乘ります。

研修内容

- 実務研修 県内トップクラスの農家が手とり足とり教えます！
- 就農準備 優秀な県や市、JA職員が就農に必要な知識、手続きを教えます！
- 経営研修 優しくJA職員や受入農家が経営に必要な基礎知識を教えます！

西尾市に「いちご」で就農するには？

研修期間

6月から翌年5月まで（苗管理からスタート、1シーズン）

研修費無料

応募方法

- （必要書類をお問い合わせ先から入手またはダウンロードして提出）
- 「JA西三河いちご新規就農者研修事業」研修受講申込書
 - 履歴書（指定様式）
- 上記の様式に必要な事項等を記載・同封の上、郵送または直接持参してください。尚、直接持参の場合は平日の9時から17時の間にお願いします。

新規就農者を支援・バックアップ！



お問い合わせ先

〈JA西三河 / JA共済〉

JA西三河 営農部 園芸販売課 TEL.0563-56-5272

〒445-0073 西尾市寄住町下田15 JA西三河 本店2階

メール：hanbai@ja-nishimikawa.com URL：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/

